

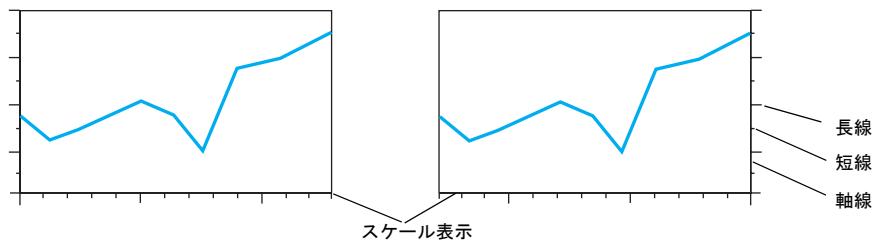
## 8.2 スケール表示

### 概要

#### スケール

グラフの右、左、上、下辺にスケールを表示することができます。

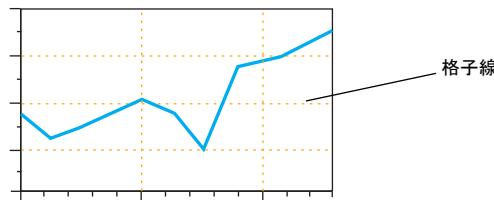
- スケールを左辺と下辺に表示
- スケールを右辺と下辺に表示



#### 格子線

スケールの目盛りに合わせて、格子線を表示することができます。

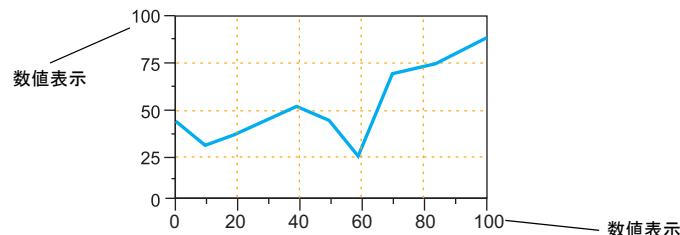
- 例：長線に格子線を表示



#### 数値表示

スケールの目盛りに合わせて、目安となる数値を表示することができます。

- 例：長線に数値表示を表示



#### 対象アイテム

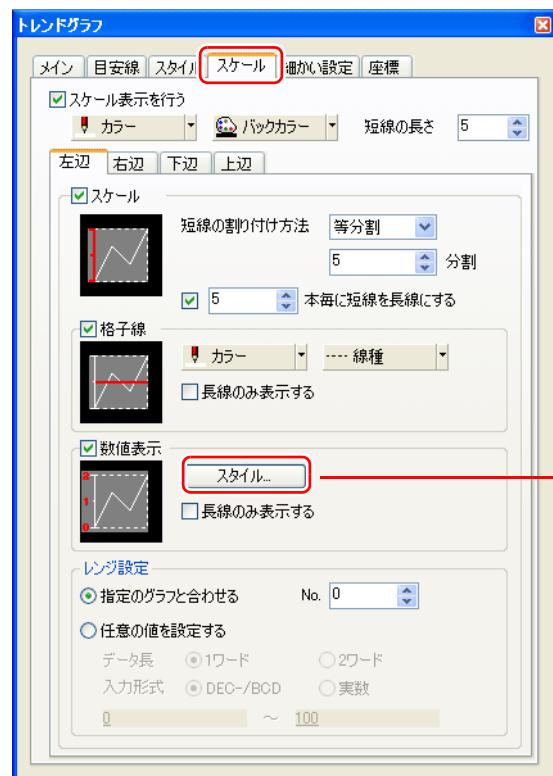
- トレンドグラフ
- トレンドサンプリング

## 必要な設定項目

[アイテムビュー] → [スケール] メニュー → [スケール表示を行う] のチェック



↓ クリックまたは  
ダブルクリック



例: トレンドサンプリング



カラー / バックカラー	スケールの長線、短線、軸線のカラーを設定します。 左辺、右辺、下辺、上辺、全て共通の設定になります。
短線の長さ	スケールの短線の長さを設定します。 左辺、右辺、下辺、上辺、全て共通の設定になります。 1 ~ 16 線の太さは固定です。
左辺 / 右辺 / 下辺 / 上辺 タブの [ロスケール]	各辺にスケール、格子線、数値表示を表示する場合、チェックします。 デフォルト: [左辺]、[下辺] チェックあり

短線の割り付け方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>等分割（単位：分割） 軸線に対して、設定した分割数に等分して短線を付けます。</li> <li>等間隔（単位：間隔） 軸線に対して、以下の範囲を基に原点から設定した値ごとに短線を付けます。</li> </ul>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>グラフ方向</th> <th>辺</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>← / →</td> <td>上辺 / 下辺</td> <td>横軸ポイント数またはスケールの [レンジ設定]</td> </tr> <tr> <td>↓ / ↑</td> <td>左辺 / 右辺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>← / →</td> <td>左辺 / 右辺</td> <td>スケールの [レンジ設定]</td> </tr> <tr> <td>↓ / ↑</td> <td>上辺 / 下辺</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	グラフ方向	辺	範囲	← / →	上辺 / 下辺	横軸ポイント数またはスケールの [レンジ設定]	↓ / ↑	左辺 / 右辺		← / →	左辺 / 右辺	スケールの [レンジ設定]	↓ / ↑	上辺 / 下辺	
グラフ方向	辺	範囲														
← / →	上辺 / 下辺	横軸ポイント数またはスケールの [レンジ設定]														
↓ / ↑	左辺 / 右辺															
← / →	左辺 / 右辺	スケールの [レンジ設定]														
↓ / ↑	上辺 / 下辺															
<input type="checkbox"/> n本毎に短線を長線にする	長線を表示する場合、チェックします。 長線は、短線の2倍の長さになります。線の太さは固定です。															
□格子線	格子線を表示する場合、チェックします。スケールの短線、長線の位置に格子線を表示します。															
	<table border="1"> <tr> <td>カラー / 線種</td> <td>格子線のカラー、線種を設定します。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>長線のみ表示する</td> <td>スケールの長線のみ、格子線を表示する場合、チェックします。 チェックを外すと、短線、長線共に格子線を表示します。</td> </tr> </table>	カラー / 線種	格子線のカラー、線種を設定します。	<input type="checkbox"/> 長線のみ表示する	スケールの長線のみ、格子線を表示する場合、チェックします。 チェックを外すと、短線、長線共に格子線を表示します。											
カラー / 線種	格子線のカラー、線種を設定します。															
<input type="checkbox"/> 長線のみ表示する	スケールの長線のみ、格子線を表示する場合、チェックします。 チェックを外すと、短線、長線共に格子線を表示します。															
<input type="checkbox"/> 数値表示	スケールの長線、短線に目安値を表示する場合、チェックします。															
	<table border="1"> <tr> <td>スタイル</td> <td>数値の桁数や文字カラーなどを設定します。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>長線のみ表示する</td> <td>スケールの長線のみ、目安値を表示する場合、チェックします。 チェックを外すと、短線、長線共に目安値を表示します。</td> </tr> </table>	スタイル	数値の桁数や文字カラーなどを設定します。	<input type="checkbox"/> 長線のみ表示する	スケールの長線のみ、目安値を表示する場合、チェックします。 チェックを外すと、短線、長線共に目安値を表示します。											
スタイル	数値の桁数や文字カラーなどを設定します。															
<input type="checkbox"/> 長線のみ表示する	スケールの長線のみ、目安値を表示する場合、チェックします。 チェックを外すと、短線、長線共に目安値を表示します。															
レンジ設定	<p>* 「短線の割り付け方法：等間隔」または [<input checked="" type="checkbox"/> 数値表示] チェックありの時のみ、有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定のグラフと合わせる</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>グラフ方向</th> <th>辺</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>← / →</td> <td>上辺 / 下辺</td> <td>横軸ポイント数 *1</td> </tr> <tr> <td>↓ / ↑</td> <td>左辺 / 右辺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>← / →</td> <td>左辺 / 右辺</td> <td>指定したグラフ No. の最大 / 最小値 *2</td> </tr> <tr> <td>↓ / ↑</td> <td>上辺 / 下辺</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>任意の値を設定する 定数またはメモリ設定し、指定した値を最大 / 最小値に使用します。*2</li> </ul>	グラフ方向	辺	範囲	← / →	上辺 / 下辺	横軸ポイント数 *1	↓ / ↑	左辺 / 右辺		← / →	左辺 / 右辺	指定したグラフ No. の最大 / 最小値 *2	↓ / ↑	上辺 / 下辺	
グラフ方向	辺	範囲														
← / →	上辺 / 下辺	横軸ポイント数 *1														
↓ / ↑	左辺 / 右辺															
← / →	左辺 / 右辺	指定したグラフ No. の最大 / 最小値 *2														
↓ / ↑	上辺 / 下辺															

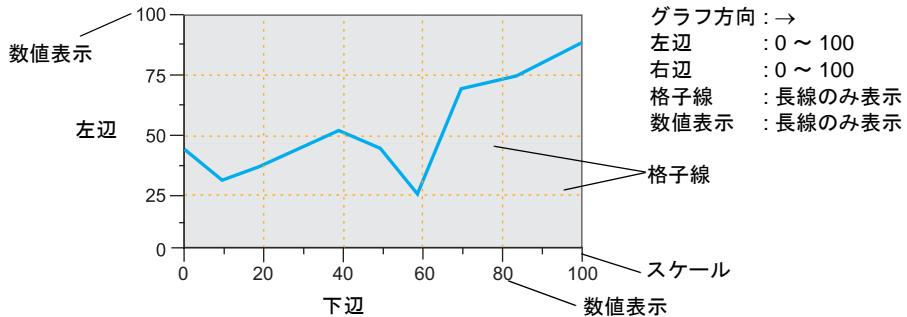
\*1 トレンドグラフで [ X 軸スケール] にチェックがある場合、X 軸スケールの最大 / 最小値を使用します。

\*2 「レンジ設定」の最大 / 最小値をメモリ（定数以外）に設定し、RUN 中に値を変更した場合、以下のタイミングで更新します。

- トレンドグラフ / トレンドサンプリングを配置した画面を再描画する
- トレンドグラフの場合、コントロールメモリで再描画または再描画クリアビットを ON する
- トレンドサンプリングの場合、マクロコマンド「TREND\_REFRESH」を実行する

## 設定手順

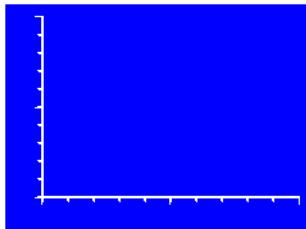
トレンドグラフに以下のスケール、格子線、数値表示を設定する場合を例に説明します。



1. 画面にスケールなしのトレンドグラフ (\*) を配置します。

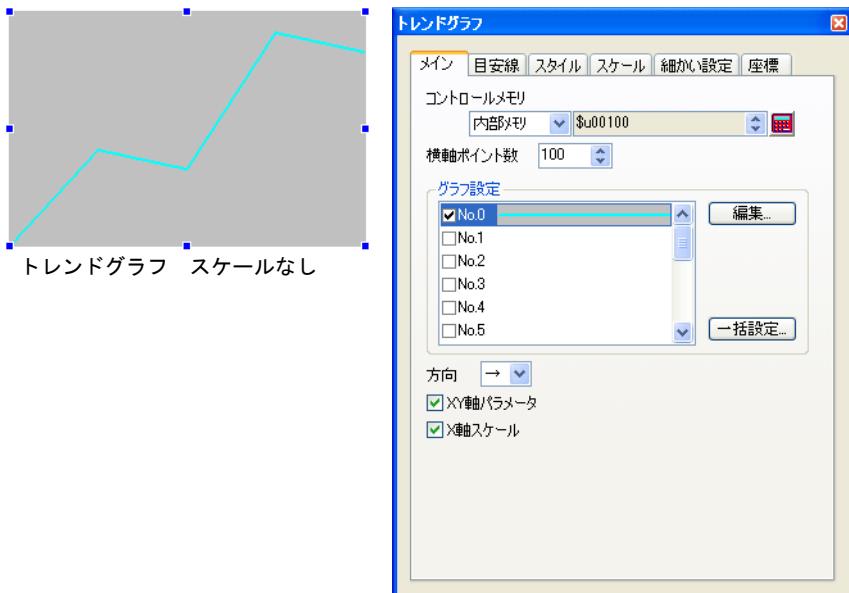
\* スケールありのパートにスケール設定を行うと、スケールが2重に表示されます。  
 必ず、スケールなしのパートを選択してください。

トレンドグラフ スケールあり



スケールが2重に表示される

2. トレンドグラフをクリックまたはダブルクリックし、アイテムビューを表示させます。  
 [メイン] タブで必要な設定を行います。  
 設定について、詳しくは『V8 シリーズ リファレンスマニュアル』を参照してください。



3. [スケール] タブをクリックし、[左辺]、[下辺] を以下のように設定します。



4. 以上で設定完了です。

## 制限事項

### トレンドグラフ

- 【複数のトレンドグラフの非同期表示】を行う場合、「親トレンドグラフ」のスケールを表示します。「子トレンドグラフ」のスケール設定は無効です。

### トレンドグラフ / トレンドサンプリング共通

- 表示領域のカラー（[スタイル] のカラー）にタイルを指定した場合、格子線などは指定したカラーで表示されません。タイルは使用しないでください。